

2017年日本経済の展望と課題

法政大学大学院政策創造研究科教授
小^こ峰^{みね}隆^{たか}夫^お

- *景気はここ数カ月で明るさを増してきた
- *消費が盛り上がりがない背景
- *貿易政策に見るトランプ発言の問題点
- *経済学的に見ても間違い
- *明らかに変わったアベノミクスの失敗
- *プライマリーバランスの黒字化は不可能
- *インフレによる財政破綻解決という罫
- *職能給をやめて職務給に
- *地方問題が解決できない理由
- *高齢者向け社会保障は削減を



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はこのところ毎年1回お招きしている小峰先生に来ていただきました。もうご承知かと思いますが、東京大学を卒業後、経済企画庁に入庁され、内国調査第一課長という経済白書の執筆をする部署におられた後、経済研究所長、調査局長を歴任され、現在は法政大学で教鞭をとられております。先ほどお聞きしましたら3月に退任されて、4月から大正大学に移られるということでございます。

年初からいろいろ外のほうで騒がしいことがございます、日本経済については久しぶりで。皆さんも、外は騒がしいけれども日本経済そのものがどうなっていくか、足元というよりは少し構造的な問題、それから将来を展望して

どうなのかといったことについて頭を整理していただけたと思います。

それでは小峰先生よろしくお願いたします。（拍手）

小峰 どうも皆さんこんにちは。法政大学の小峰です。よろしくお願いたします。

今ご紹介いただきましたようにこのところ3年連続ぐらいですか、毎年こちらにお邪魔してお話をしていますので、今日お話しする内容も前に聞いたことがあるというような面もありまして、私がチェックしている部分をお話すると大体同じような話が出てくるということですが、ただ幸いにして、トランプ大統領のような話題性に満ちた人が出てきたりして、いろいろ新しい動きも次々に出てきておりますので、そうい